

The 13th CSE Summer School & The 10th ALP International Symposium

This symposium is organized by PhD students at the Graduate School of Chemical Sciences and Engineering (CSE) and Ambitious Leader's Program (ALP) for our collaboration and exchange of ideas in different fields.

DATE: August 6th (SAT) - 7th (SUN), 2022

PLACE: Large Conference Room (Sousei Building) or Zoom

INVITED LECTURES:



Prof. Dr. Komatsuzaki Tamiki

(Institute for Electronic Science, Hokkaido University, Sapporo, Japan)

"Single Molecule Biophysics: What do Single Molecules Experience its Energy Landscape? Free Energy Landscape?"



Prof. Dr. Tong Shengfu

(Department of Sustainable Energy Materials and Science, Jinhua Advanced Research Institute, Zhejiang Province, China)

"Rational synthesis of transition metal oxides and the applications in energy storage systems"

PROGRAM:

Invited Lectures, Oral and Poster Presentations, Recreations

- Poster presentations and Recreations will only take place **onsite**.
- Oral presentations and invited lectures will be held **onsite and online (hybrid)**.
- The best presenters will be awarded.

REGISTRATION:

- Registration Fee: Free
- **Deadline: Jun 19th (Sun), 2022**
- Contact: Sato Josei (josei227@eis.hokudai.ac.jp)
- Registration: <https://forms.gle/QtoRsnMSkW2QRtmm8>
- Abstract Submission: <https://forms.gle/JKF7DQJi6dchgB777>



Registration Abstract Submission

ORGANIZING COMMITTEE

Sato Josei (D1, ALP, Grad. Sch. Life Sci.),
Noguchi Shinji (D1, ALP, CSE.),
Usui Takuya (D1, ALP, Grad. Sch. Life Sci.),
Wada Sato (D2, SMatS, CSE.),
Ito Takuma (D2, CSE.),
Zhu Ruijie (D2, ALP, CSE.),
Ishizaka Masato (D3, ALP, Grad. Sch. Life Sci.),
Hayashi Yuki (D3, ALP, CSE.),
Prof. Dr. Tsutsumi Takuro (Fac. Sci.),
Prof. Dr. Harabuchi Yu (Fac. Sci.),
Prof. Dr. Asakura Kiyotaka (ICAT.)

SPONSORS



GRADUATE SCHOOL OF
CHEMICAL SCIENCES AND
ENGINEERING
HOKKAIDO UNIVERSITY



HOKKAIDO UNIVERSITY
AMBITIOUS
LEADER'S PROGRAM
Fostering Future Leaders to
Open New Frontiers in Materials Science



SMatS
Ambitious program for smart materials science,
Hokkaido University

37th Summer University in Hokkaido

主題＝サステイナブルな高分子材料

〈趣旨〉 本会は毎回テーマを定めて最先端の高分子科学の基礎から応用を学ぶことを目的としております。今回は、主題である「サステイナブルな高分子材料」の分野で先駆的な研究を展開している講師をお招きし、再生可能資源を用いた高分子材料創製や生分解性高分子のデザインなどに関しての最先端の研究・技術についてのご講演をお願いしております。また、今回は北海道大学フロンティア化学教育研究センターと高分子学会北海道支部の共同主催とし、より幅広い分野の方々の参加をお待ちしております。

2022年8月17日（水）16:00～17:30 ポスターセッション

会場 北海道大学フロンティア応用科学研究棟 2F ホワイエ

参加者による40件程度の研究発表を予定。学生や若手研究者の積極的な参加をお待ちしております。

学生による発表から数件ポスター賞を選考し、表彰します。

参加要領 2022年度北海道高分子若手研究会と続けて開催いたしますので、同時申込とさせていただきます。一方のみの申込はできません。

- 1) 定員：120名程度
- 2) 参加費：学生無料、一般1,000円（FCC関連部局所属の方は免除）
- 3) 申込方法：支部HP掲載の参加申込書に、氏名・所属・身分・申込区分を明記し、E-mailに添付してお申し込みください（**件名に「サマユニ若手会申し込み」を含めてください**）。研究室でお申し込みの場合は、全員分を取りまとめてお申し込み頂けると大変助かります。またポスター発表の方は、A4一枚以内で要旨の提出をお願いいたします。
- 4) 参加申込締切：8月1日（月）、ポスター発表要旨締切：8月10日（水）

申込・連絡先 北海道大学大学院先端生命科学研究院 野々山 貴行

電話 011-706-9016 E-mail: nonoyama@sci.hokudai.ac.jp 支部 HP: <https://spsj.or.jp/branch/hokkaido/event-02/>

2022年8月18日（木）9:00～12:00 講演会

会場 北海道大学フロンティア応用科学研究棟 2F レクチャーホール

- 1) ^{レドワンボルサリ}**Redouane Borsali** 先生（グルノーブル・アルプ大学/CERMAV-CNRS・教授）
「Self-assembly of carbohydrate block copolymers:
From nanoparticles to thin films to colored biomaterials」
- 2) **金子 達雄** 先生（北陸先端科学技術大学院大学先端科学技術研究院・教授）
「ナイロンに生分解性のスイッチを入れるには？」
- 3) **高橋 憲司** 先生（金沢大学理工研究域・教授）
「イオン液体によるセルロース誘導体合成とバイオリファイナリー」

問合せ先 北海道大学大学院工学研究院 磯野 拓也

電話 011-706-2290 E-mail: isono.t@eng.hokudai.ac.jp 支部 HP: <https://spsj.or.jp/branch/hokkaido/event-01/>

主催 高分子学会北海道支部・北海道大学フロンティア化学教育研究センター（FCC）



北海道大学大学院工学研究院

Frontier Chemistry Center

フロンティア化学教育研究センター



高分子学会北海道支部



SAPPORO

第34回

万有札幌シンポジウム

有機化学：センスとこだわりが生み出す分子たち

2022 **10.8** SAT

SENDAI

北海道大学鈴木章ホール

(オンライン複合開催、状況によってはオンライン開催のみ)

参加登録受付、講演要旨等、詳細をご案内していますのでMSD生命科学財団ホームページをご覧ください。

<https://www.msd-life-science-foundation.or.jp/category/symp/sapporo>

参加
無料

FUKUOKA

Lectures

MBLA受賞講演

- | | | |
|--------------|-------------------------|--------------------------|
| 南保 正和 | 名古屋大学トランスフォーマティブ生命分子研究所 | スルホニル基を活かした逐次的分子変換反応の開発 |
| 石川 勇人 | 千葉大学大学院薬学研究院 | 有機分子触媒を利用する目的志向型天然物全合成 |
| 久保 孝史 | 大阪大学大学院理学研究科 | 新物質創造で探る電子対の新しい姿 |
| 友岡 克彦 | 九州大学先端物質化学研究所 | 新しい特性を有するアルケン，アルキンの創製と応用 |
| 深瀬 浩一 | 大阪大学大学院理学研究科 | 有機合成で挑む免疫制御 |

※ショート講演も実施します。

【日時】 2022年10月8日(土) 12:10~18:05

【会場】 北海道大学鈴木章ホール(オンライン複合開催、状況によってはオンライン開催のみ) 札幌市北区北13条西8丁目

【主催】 万有札幌シンポジウム組織委員会

【共催】 日本化学会北海道支部、有機合成化学協会北海道支部、北海道大学大学院工学研究院フロンティア化学教育研究センター
北海道大学化学反応創成研究拠点(WPI-ICReDD)



【協賛】 公益財団法人MSD生命科学財団

【後援】 日本化学会、日本農芸化学会、有機合成化学協会

Organizer

谷野 圭持 北海道大学大学院理学研究院

【問合せ】

第34回万有札幌シンポジウム事務局 〒060-0810 札幌市北区北10条西8丁目
北海道大学大学院理学研究院 有機化学第二研究室 TEL:011-706-2705
谷野 圭持、鈴木 孝洋
E-mail:34banyu_sapporo@sci.hokudai.ac.jp



日本磁気学会第 85 回スピントロニクス専門研究会
「スピントロニクスにおける軌道流と材料開発」

日時：2022 年 10 月 18 日（火）13:30～17:30

場所：フロンティア応用科学研究棟 1F セミナー室 1

（オンライン同時開催：100 名まで要登録・10/14（金）締切）

参加登録は下記 URL または QR コードをよりお願いします。

参加費：無料

<https://forms.gle/FnKAMxQi7WdbLABV7>



プログラム

13:30～13:35 オープニングアドレス 大谷 義近 氏（東京大学）

13:35～14:20 「多軌道金属における内因性ホール効果：
軌道流とスピン流の関係性」
紺谷 浩 氏（名古屋大学）

14:20～15:05 「長距離軌道輸送と巨大軌道トルクの観測」
林 宏樹 氏、安藤 和也 氏（慶應大学）

15:05～15:30 休憩

15:30～16:15 「軌道ホール効果の第一原理計算」
辻川 雅人 氏（東北大学）

16:15～17:00 「非磁性金属/酸化膜界面による軌道トルク」
金 俊延 氏（理研）、大谷 義近 氏（東大・理研）

17:00～17:30 ディスカッション

主催：日本磁気学会スピントロニクス専門研究会

北海道大学大学院工学研究院フロンティア化学教育研究センター

連絡先：工学研究院応用化学部門 長浜 太郎（011-706-6578）